

BearingChecker

ベアリングチェッカーで 効果的なメンテナンスを

機械故障の多くは軸受の損傷が原因で起こります。

事前に損傷を予知・検知することにより

機械や装置の信頼性が高まり

オペレーティングコストの削減につながります。

軸受状態を定期的にチェックするだけで

予期せぬ機械停止を防ぎ、必要のない修理作業を
削減することができます。

ベアリングチェッカー — エキスパートパートナー

ベアリングチェッカーを使えば、だれにでも簡単に
経済的なメンテナンスを先取りすることができます。

お客様のメンテナンス業務をより便利に、
より経済的にすることができます。

特殊なトレーニングは必要ありません。

熱や振動で損傷を検知できるようになる前に
潜在的な損傷を発見することができます。



軸受状態を
瞬時にその場で
評価できるよう
設計されています



[温度測定]



[ショックパルス測定]



[電子式聴診器]

ベアリングチェッカーは予知保全を行うために軸受状態をすばやく簡単に測定できるポータブル計測器です。プッシュボタンで操作し、基本測定データは手入力します。

計器の仕様

ケーシング/カバー:	ABS/PC、IP54
寸法:	158 x 62 x 30 mm
重さ:	185 g (電池含む)
キーパッド:	シールド膜 (シリコンゴム)
ディスプレイ:	モノクログラフィック、 64 x 128ピクセル、LEDバックライト、
軸受状態表示:	緑、黄、赤ライト
測定表示:	青色ダイオード
電源供給:	2 x 1.5V AA電池 (アルカリ電池又は充電電池)
電池寿命:	通常使用で8時間まで
耐熱範囲:	0 ~ 50°C
入力端子:	Lemo同軸 外付けショックパルストランスデューサ (プローブ又はクイックコネクタタイプ)用
出力端子:	3.5 mm ステレオミニプラグ ヘッドフォン用
一般機能:	電池状態表示、 トランスデューサラインテスト、 メトリック表示/インチ表示の切替え、 記号による言語中立メニュー 測定値10回分まで保存
付属マニュアル:	1.クイックスタートマニュアル 2.簡単評価ガイドブック

ベアリングチェッカー内蔵プローブでショックパルスを、赤外線センサーで表面温度を測定することができます。また、機械音を検知するために電子式聴診器として使用することもできます。

ショックパルス測定

測定方式:	dBm/dBc、 測定範囲 -9 ~ 90 dBsv、±3 dBsv
トランスデューサタイプ:	内蔵トランスデューサ

温度測定

温度範囲:	-10 ~ +160°C
分解能:	1°C
トランスデューサタイプ:	334/3161、内蔵非接触 IRセンサー

電子式聴診器

イヤホンモード:	8レベル
----------	------

注文番号

BC100 ベアリングチェッカー (アルカリ電池含む)

SPM Instrument Japan 株式会社

本社: 〒542-0081
大阪府中央区南船場 1-17-21 長堀ビル 4F
TEL 06-6266-1171 FAX 06-6261-3637

東京: 〒105-0021
東京都港区東新橋 2-9-4 ヴィア・パルコ 5F
TEL 03-6403-5875 FAX 03-6403-5975

Email: mailbox@spmjapan.jp HP: http://www.spmjapan.jp

